

世界の主な地震

平成 20 年（2008 年）10 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

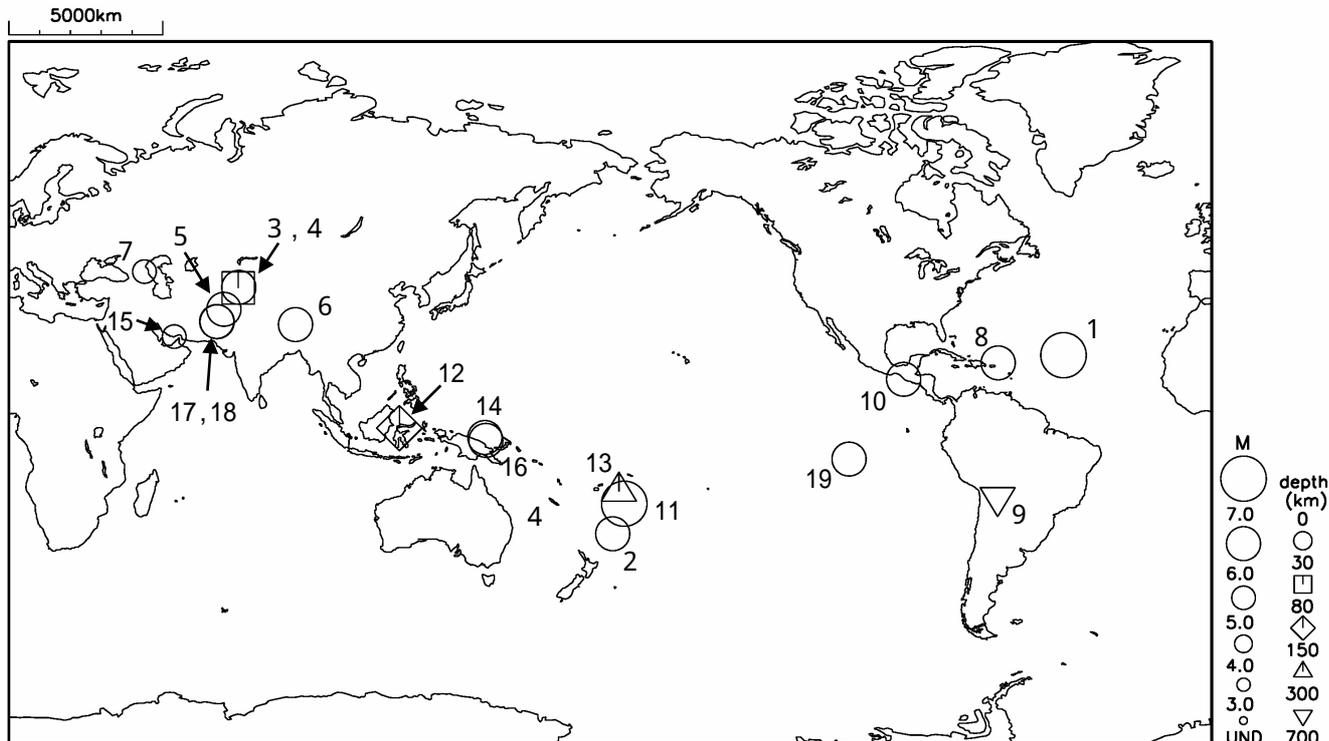


図 1 平成 20 年（2008 年）10 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布
 <震源要素は米国地質調査所(USGS)発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS(QED)による>

* : 数字は、表 1 の番号に対応する。

** : マグニチュードは USGS による mb（実体波マグニチュード）、Ms（表面波マグニチュード）及び Global CMT による Mw（モーメントマグニチュード）のいずれか大きい値を用いて表示している。

表 1 平成 20 年（2008 年）10 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	震源時 月 日 時 分	緯度	経度	深さ (km)	mb	Ms	Mw	震央地名	備考（被害状況など）
1	10月04日14時41分	N21° 20.3'	W 45° 43.8'	10	5.0	7.8		大西洋中央海嶺北部	
2	10月05日18時12分	S30° 10.7'	W177° 11.2'	10	5.8	6.2	6.2	ケルマデック諸島	
3	10月06日00時52分	N39° 31.2'	E 73° 48.9'	27	6.4	6.9	6.6	タジキスタン-シンチアンウイグル自治区(中国)境	死者74人以上、負傷者140人以上、建物被害数十件
4	10月06日00時55分	N39° 21.7'	E 73° 38.7'	35	6.2			タジキスタン-シンチアンウイグル自治区(中国)境	
5	10月06日07時56分	N33° 53.1'	E 69° 27.9'	10	5.7	6.0	5.9	アフガニスタン南東部	
6	10月06日17時30分	N29° 48.3'	E 90° 20.3'	12	6.1	6.2	6.3	チベット自治区(中国)	死者9人、負傷者19人以上、住家被害多数
7	10月11日18時06分	N43° 23.2'	E 46° 18.3'	16	5.7	5.5	5.8	コーカサス東部	死者13人、負傷者100人以上、建物被害1027件
8	10月11日19時40分	N19° 09.6'	W 64° 47.1'	23	6.2	5.9	6.1	バージン諸島	
9	10月13日05時55分	S20° 03.6'	W 64° 56.4'	356	6.0		6.2	ボリビア南部	
10	10月17日04時41分	N14° 26.2'	W 92° 20.7'	24	6.1		6.6	メキシコ、チアパス州沿岸	
11	10月19日14時10分	S21° 51.8'	W173° 48.8'	29	6.8	7.0	6.9	トンガ諸島	
12	10月20日13時54分	N 0° 06.6'	E120° 38.3'	121	6.1		5.9	インドネシア、スラウェシ	
13	10月22日21時55分	S18° 25.0'	W175° 21.3'	233	5.8		6.4	トンガ諸島	
14	10月23日19時04分	S 2° 38.0'	E145° 33.7'	10	6.0	6.3	6.3	バブアニューギニア、アドミラルティ	
15	10月26日05時17分	N26° 31.9'	E 54° 59.1'	29	5.0			イラン南部	負傷者9人
16	10月29日01時00分	S 3° 30.9'	E145° 51.7'	16	5.4	5.9	6.0	バブアニューギニア、ニューギニア北岸	
17	10月29日08時09分	N30° 39.3'	E 67° 21.6'	15			6.4	パキスタン	死者300人以上、負傷者500人以上など
18	10月29日20時32分	N30° 34.1'	E 67° 28.9'	14	6.1	6.6	6.4	パキスタン	負傷者1人、建物被害数件など
19	10月31日00時15分	S 9° 01.8'	W108° 15.4'	10			6.0	東太平洋海嶺中部	

・震源要素、被害状況等は米国地質調査所(USGS)発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS(QED)による（平成 20 年 11 月 5 日現在）、ただし、Mw は Global CMT による。また、日本付近で発生した地震の震源要素及びマグニチュード（Ms の欄に括弧を付して記載）は気象庁に、被害状況は総務省消防庁による。
 ・震源時は日本時間 [日本時間 = 協定世界時 + 9 時間] である。

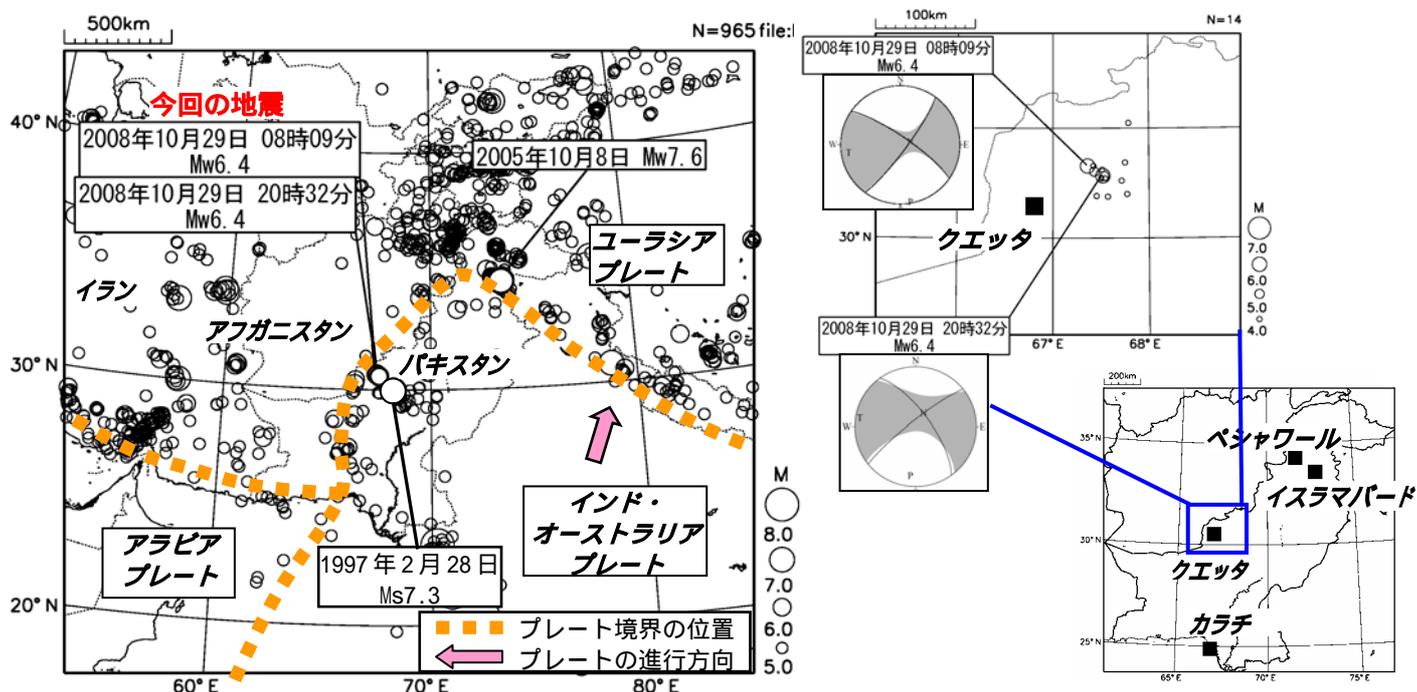
2008年10月29日のパキスタンの地震

10月29日08時09分（日本時間）にパキスタンでMw6.4^{*}の地震が発生し、同日20時32分にもMw6.4^{*}（米国地質調査所（以下USGS）による表面波マグニチュードMsは6.6）の地震が発生した。震源地はパキスタンの都市クエッタ（人口60万弱）の北東約60kmの場所である。これらの地震の発震機構（Global CMT解）はいずれも南北方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型であった。この地震により死者300人以上、負傷者500人以上の被害が生じ、周辺の村では壊滅的な被害も生じている。また、20時32分の地震によるビルの倒壊や建物の被害も報告されている（11月5日現在、USGSによる）。

今回の地震の震源はインド・オーストラリアプレートとユーラシアプレートの境界付近に位置し、地震活動が活発な地域で、1997年2月28日には今回の地震の南東約100km南東Ms7.3の地震が発生した。

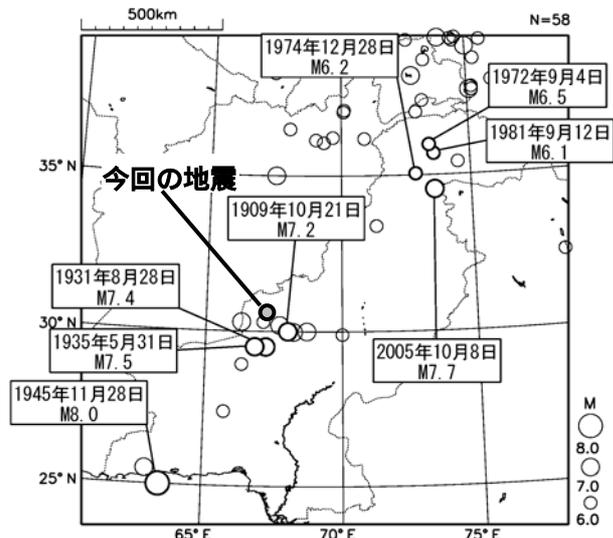
パキスタンでは、2005年10月8日にパキスタン北部でMw7.6^{*}が発生し、カシミールを中心に死者8万7千人以上、負傷者7万5千人以上の被害を生じた（USGSによる）。また、今回の地震の震央付近では、1935年5月30日にはクエッタの南約80kmの場所でM7.5の地震が発生し、死者6万人等の被害を生じた（宇津の「世界の被害地震の表」による）。

*1 モーメントマグニチュード Mw は Global CMT による。



上左：震央分布図（1970年1月1日～2008年11月5日、M 5.0、深さ100km以浅、震源はUSGSによる）

上右：震央分布図（2008年10月29日～11月5日、M 4.0、深さ100km以浅、震源はUSGS、発震機構はGlobal CMTによる）



パキスタン国内で発生した主な被害地震

（1885年以降に発生した、M 6.0、深さ0～100kmの地震のうち、被害を伴った地震。）

震源要素は、宇津の「世界の被害地震の表」による。ただし、2003年8月以降についてはUSGSによる。）

パキスタン国内で発生した死者100人以上の地震

地震発生日	M	死者	負傷者
1909年10月21日	7.2	231	不明
1931年8月28日	7.4	200	不明
1935年5月30日	7.5	60,000	多数
1945年11月28日	8.0	300	不明
1972年9月4日	6.5	100	不明
1974年12月28日	6.2	5,300	17,000
1981年9月12日	6.2	229	200
2005年10月8日	7.7	87,351	75,266

（宇津の「世界の被害地震の表」による。ただし、2005年の地震波USGSによる。）